

6－7 九州地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kyushu District

国土地理院
Geographical Survey Institute

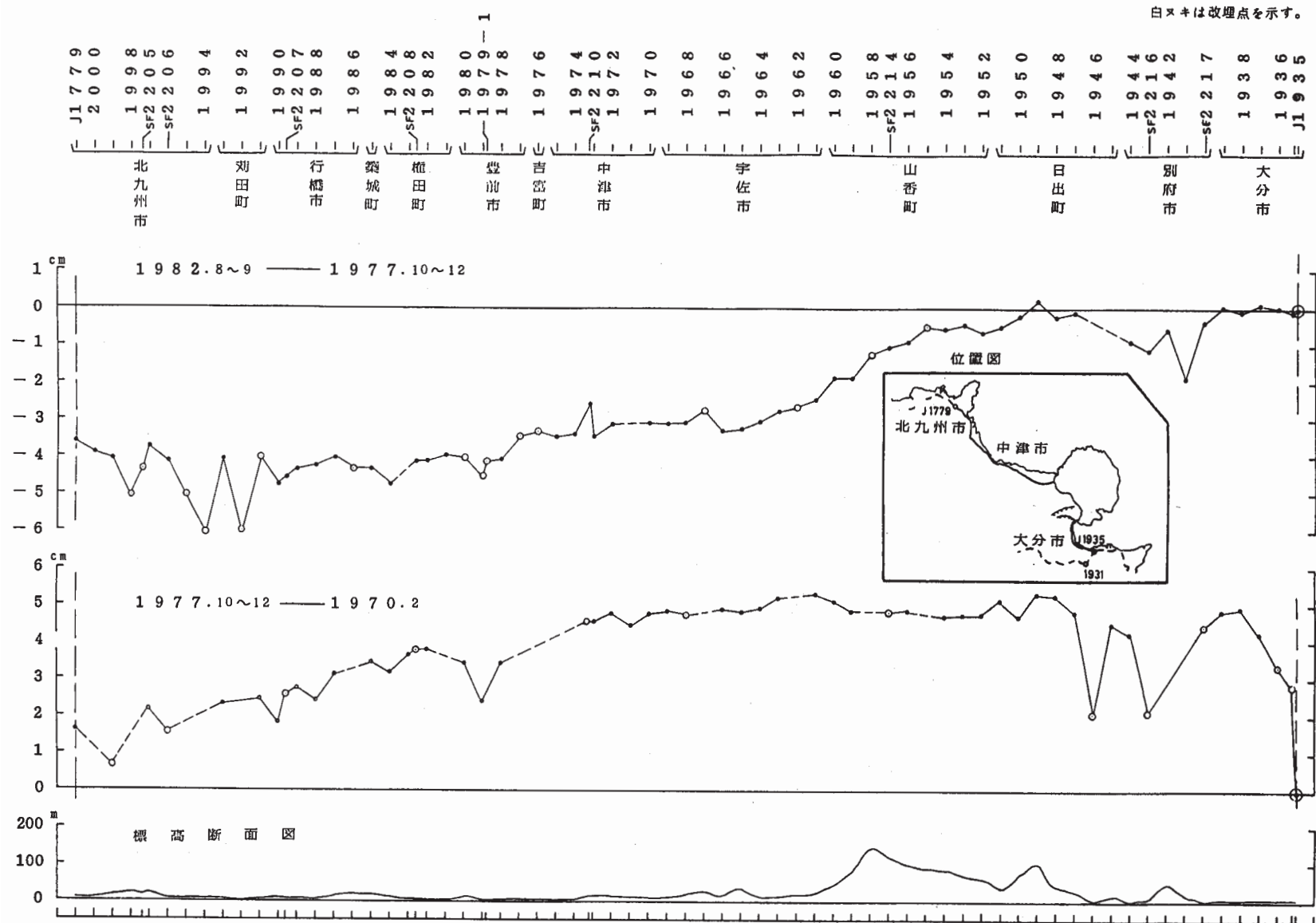
九州北部の水準測量および都城・串間地方の精密測地網一次基準点測量の結果について報告する。

第1図～第3図に水準測量による上下変動を示す。第1図は北九州市から大分市に至る路線である。1977年から1982年の約5年間に、北九州市に対して大分市側が約4cmの隆起を示している。第2図は福岡－北九州間で、不規則な沈降、隆起は地盤沈下とその回復現象によるものである。第3図の熊本市から久留米市に至る路線では、熊本側が隆起を示している。すでに、報告したように⁴⁾熊本市に対して南部の八代市から芦北町にかけても隆起している。したがって九州西側のかなり長い路線に沿ってほぼ一様な隆起があらわれたことになる。

第4図は都城・串間地方の一次基準点測量の結果を明治の三角測量と比較して得た水平歪を示す。全体的に伸びを示し、方向については規則的なものは見られない。明治の基線の増大に問題があった可能性がある²⁾。

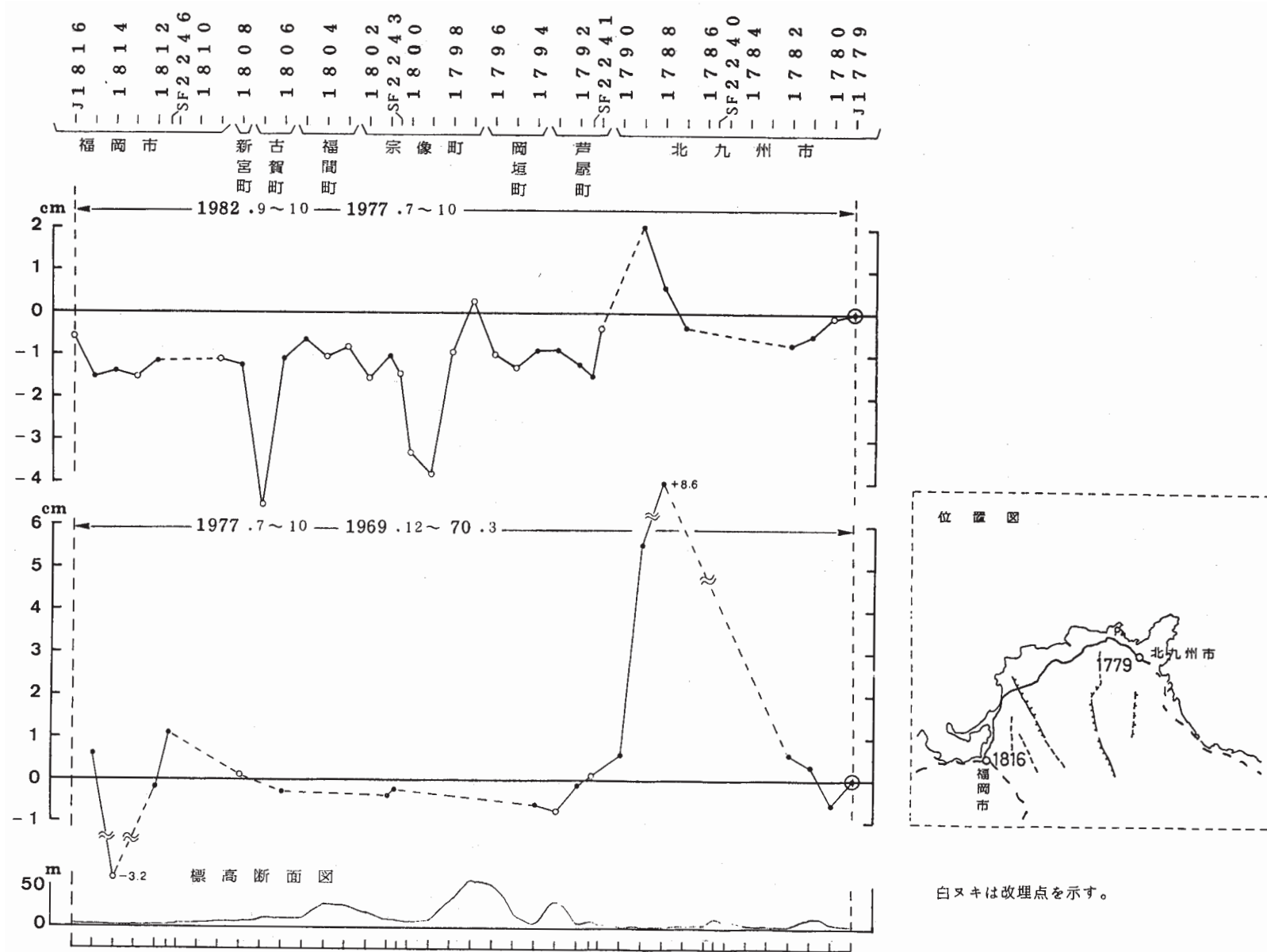
参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻活動調査室：全国水平歪について，連絡会報，**8**（1972），99－105.
- 2) 国土地理院測地部：九州地方G・D・P・高精度トラバース測量結果，連絡会報，**11**（1974），123－124.
- 3) 国土地理院 原田健久・志村迪吉：一等三角測量による西日本の地殻の水平変動，連絡会報，**19**（1978），155－161.
- 4) 国土地理院測地部：九州中部地方の上下変動，連絡会報，**27**（1982），302－310.
- 5) 国土地理院：九州地方の上下変動，連絡会報，**28**（1982），309－320.

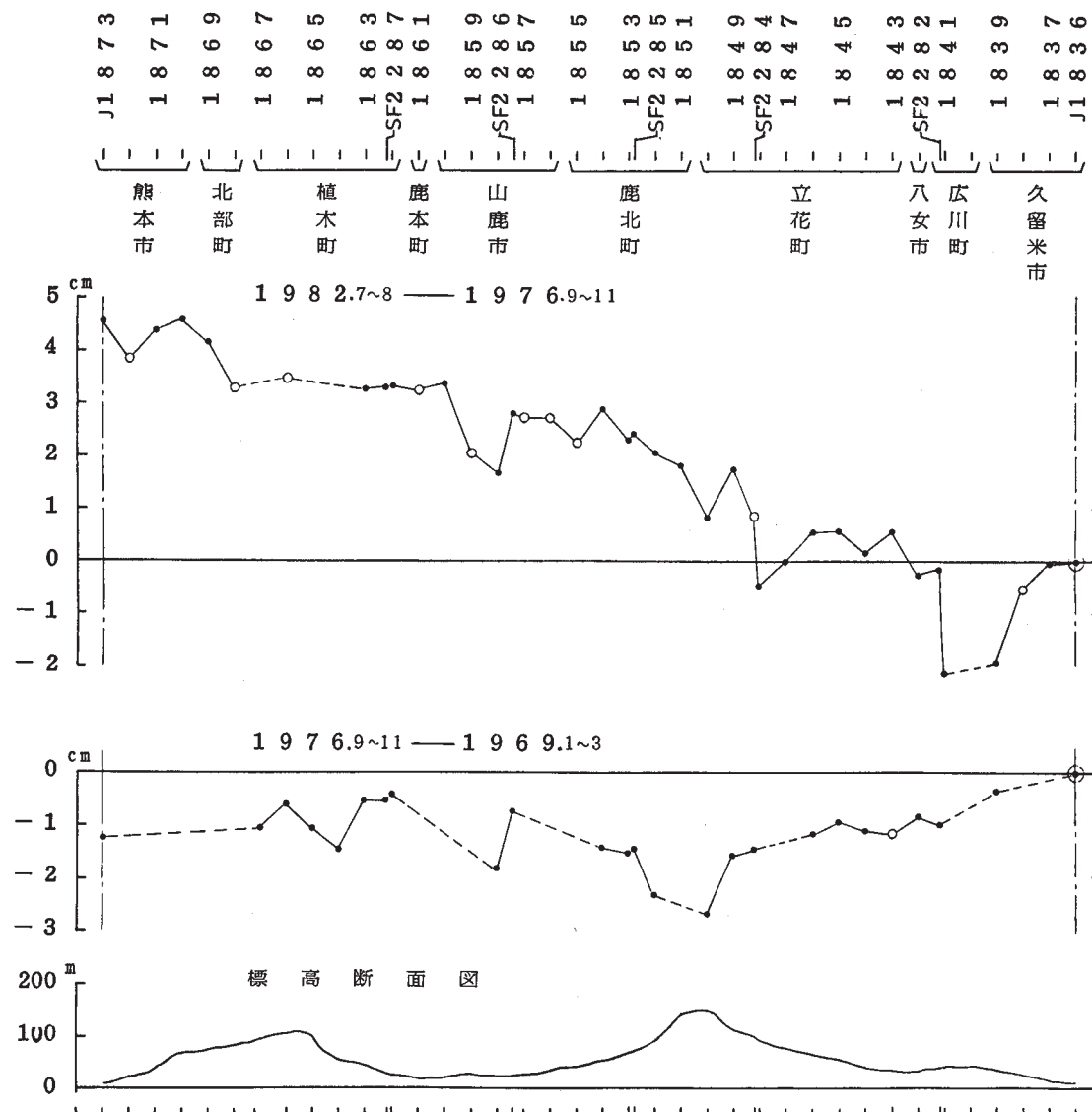


第1図 北九州～大分間の上下変動

Fig. 1 Vertical movement between Kitakyushu and Oita.

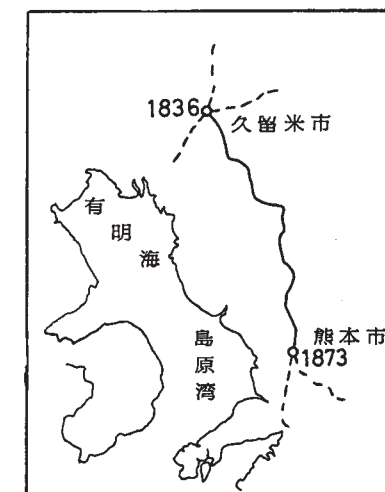


第2図 福岡～北九州間の上下変動
Fig. 2 Vertical movement between Fukuoka and Kitakyushu.



白マキは改埋点を示す。

位置図



第3図 熊本～久留米間の上下変動

Fig. 3 Vertical movement between Kumamoto and Kurume.

